

バーバリーシープ「鈴ちゃん」

こんにちは、新人飼育員の小椋です。飼育員になって、はや2カ月がたとうとしています。私が最近、力を入れているのがトレーニングです。バーバリーシープとルリコンゴウインコのトレーニングを行っていますが、今回はバーバリーシープについて書きたいと思います。

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園

バトバリーシープの鈴ちゃんりんちゃん写

真まことは、臆病な性格をしています。初めて対面したときは、常に5メートルほど距離を取られていました。笛が鳴ったら餌がもたらえることを段階的におぼ

体をなでて体調管理

えさせました。今では鈴ちゃんが笛にしっかり反応するようになったので、体をなでながら餌を与え、触られることに慣れさせています。

このトレーニングは、体調管理の一環として行っています。体を触れるようになればけがや病気に気が付きやすいのです。以前、たて続けに仲間が亡くなったことで始まったトレーニングですが、病気の兆候をいち早く察知できるようにトレーニングを続けたいと思います。



(新人飼育員 小椋大玖)